

(国立公文書館による仮訳)

「新たな技術的課題への対応とアーカイブズ機関の役割定義」

情報化時代におけるアーカイブズの役割の転換

ご列席の 先生、皆様、

中国のアーキビストを代表して、私たちのアーカイブズマネジメントの経験を世界中の皆様と共有できることを大変光栄に思っている。

アーキビストは歴史的な記録を保存するだけでなく、それらを利用しやすくすることに責任を負っている。アーカイブズ機関は、文書の収蔵施設であると同時に、歴史や文化の発信センターとしての役割がある。今日は、中国におけるアーカイブズの状況のいくつかの側面を簡単に紹介したいと思う。

(1987年に中華人民共和国档案法〔以下、档案法〕が制定、施行された。そして2021年、包括的な見直し後、新しい档案法が施行された。2023年には中華人民共和国档案法施行令〔Regulation on the Implementation of the Archives Law of the People's Republic of China〕が公布された。中国のアーカイブズ界はアーカイブズ標準の策定を積極的に推進しており、12の国家標準と104の業界固有の標準を発表している。これらの法令や施行令ではアーカイブズ機関の責任と役割を定義しており、国と業界の標準ではアーカイブズ機関の運営ガイドラインを規定している。)

I. 時代の記憶の保存を強調して、アーカイブズ収蔵施設の役割を果たす

アーカイブズ機関は、前の世代から受け継いだ歴史的記録を保護して継承するだけでなく、現代に生まれた新しい記憶を適時に収集、保存して継続的にアーカイブズ資源を充実させていく。近年は、中国のさまざまなアーカイブズ機関によるアーカイブズ資源の構築が実りある結果をもたらした。国家の記憶を保存する上で極めて重要な役割を果たしている。例えば、中国の貧困脱却キャンペーンや新型コロナウイルス感染拡大への対応に関する取組に大きな成果をもたらした。さらに、大規模なプロジェクトやイベントによって豊かなアーカイブズ資料が作成されている。高速鉄道網の建設、南水北調プロジェクト、北京冬季オリンピック、上海の中国国際輸入博覧会などの包括的なアーカイブズが収集され、企業のアーカイブズ機関または国の档案馆に保管されている。あらゆるレベルの国の档案馆に保有されているコレクションは、11億巻(件)を超えており、コンテンツは絶えず拡大し、多様化している。アーカイブズ機関は、全般的に、視聴覚資料や各種アーカイブズ資源の受け入れと収集の取組を強化している。テキスト形式のアーカイブズが中心だった従来のコレクションの構造は変化しつつある。例えば、杭州市档案馆が2023年の杭州アジア競技大会から受け入れた動画の容量は570TBに達している。

(国立公文書館による仮訳)

電子アーカイブズはデジタル時代の社会の文書であり、それらの収集と保存はアーカイブズ機関の新たな課題となっている。中国档案法は、電子アーカイブズの管理について具体的に言及し、それらは従来の紙ベースのアーカイブズと同じ法的位置づけを有すると規定している。最近、中国国家档案局は、アーカイブズ機関と社会的機関の両方で電子アーカイブズの管理を強化し標準化することを目的とした「電子アーカイブズ管理規則 (Management Measures for Electronic Archives)」を発表した。この措置には、電子アーカイブズの真正性、完全性、有用性、セキュリティを確保するための電子ファイルのアーカイビング、電子アーカイブズの移管と保管、それらの利用に関する規則の概要が示されている。新たに作成されるアーカイブズ資源のデジタル化を推進し、あらゆる種類の電子ファイルの包括的アーカイビングと電子アーカイブズの徹底した収集を奨励する取組が進められている。デジタル時代の新しい記憶の大部分を構成する電子的な公的文書、インボイス、証明書、ケースファイルを広く採用するよう求められている。昨年、国務院弁公庁は、「政務サービスにおける電子文書のアーカイブ化と電子アーカイブズの管理規則 (Measures for the Archiving of Electronic Documents on and the Management of Electronic Archives of Government Services)」を公布した。この措置では、あらゆるレベルの政府機関がそれぞれのサービスプロセスシステムを電子アーカイブズマネジメントシステムと統合し、電子ファイルの適切なアーカイビングおよび関連規則に従った国の档案館への適時の移管を確実に行うことを求めている。

II. 積極的に公衆に奉仕してアーカイブズの活用センターとしての役割を強化する

2022年7月、国家档案局は、アーカイブズの公開は適法性、適時性、公平性、利用しやすきの原則に従うべきであると規定した「国の档案館によるアーカイブズの公開規則 (Measures for the Opening of Archives by State Archives)」を公布した。公開したアーカイブズへのアクセスについてユーザーのニーズを最大限満たすことを目的としたこの規則は、アクセス手段の拡大、手続きの簡素化、サービスレベルの向上などの措置によって一般の人々のアーカイブズの利用を促進することに重点を置いている。国の档案館は、専用の利用施設を設置することにより公益性を向上させている。ユーザーは、手紙、電話、ウェブサイト、メール、オンライン政府サービスなどのさまざまな手段によってアーカイブズにアクセスできる。

中国における国の档案館には、通常、アーカイブズの収集と研究を専門とする部署や役職がある。その主な責務は、アーカイブズ資料を整理、研究、編集することである。毎年、アーカイブズの収集や関連する研究結果に基づき数百点の書籍が出版されている。アーカイブズの収集には主に2つのタイプがある。1つは、著名人の著作や絵画、古い写真アルバムの

(国立公文書館による仮訳)

コレクションなどを、複製としてアーカイブズを収集する場合である。もう1つは、清朝満洲語档案 (Manchu-Language Archives of the Qing Dynasty) の翻訳や中国とソビエトの文化的関係に関するものの収集のように、アーカイブズの整理と説明の提供を伴う場合である。

さらに、一部のアーカイブズ機関では、政府機関や国有企業の関心のあるテーマに合わせて、あるいは実用的な参考資料の収集のために、アーカイブズ資源を定期的を選定している。歴史的記録と現代の実情を橋渡しするこれらの文書は、貴重な歴史的洞察を提供し、意思決定の指針となり、しばしば関連する管理者に歓迎される。例えば、新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、武漢での臨時の病院建設が急務であったとき、ある設計事務所と建設会社のアーカイブズ機関は、2003年のSARS感染拡大の際に北京で同様の施設を建設した詳細な記録を迅速に提供した。この情報のおかげで武漢は2つの臨時病院を数日で建設し、貴重な時間を節約することができた。

ここ数年は、アーカイブズ施設を建設または改修する際、展示スペースの設計に一層重点が置かれるようになってきている。展示は、資源を開拓し、〔アーカイブズ機関が〕公衆に奉仕するための重要な方法となっている。一般的に、国の档案館が主催する展示は、常設展と企画展の2種類に分類される。常設展は、アーカイブズ機関のコレクションから代表的な展示品を選び、地元の歴史や文化を紹介する。各アーカイブズ機関は、中核的展示の一環として、このような展示を少なくとも1つは実施している。企画展は、通常、アーカイブズ機関独自の所蔵資料をベースとして、大規模なイベント、重要な記念日、文化的活動などと組み合わせて開催される。例えば、歴史上の人物の記念展示、地域発展の偉業を記念する展示、地域の無形文化遺産の展示、昔の都市の写真展、特別コレクションの展示、寄贈されたアーカイブズの展示などがある。

アーカイブズの利用に対する一般の人々の需要が高まっているため、アーカイブズ機関は実物展示に加えて、ウェブサイト上でのオンライン展示も開始している。注目すべきことに、中国の一部のアーカイブズ機関は、従来の枠にとどまらず、都市の公共スペースや大学キャンパスなどに範囲を広げ、社会的影響の拡大とアーカイブズ文化の発信に力を入れ始めている。例えば、今年9月、「シルクロードから一帯一路へ (From the Silk Road to the Belt and Road)」と題するアーカイブズ文化遺産展示が、上海浦東国際空港のターミナルで行われた。中国第一歴史档案館、上海市档案館、上海中国航海博物館などが共催したこの巡回展は、空港の公共スペースをアーカイブズギャラリーに変え、アーカイブズを直接一般公開している。

全国の国の档案館は、個人的研究の重要な資源となっており、インターネットを通じてオン

(国立公文書館による仮訳)

ラインサービスを提供している。個別のアーカイブズ機関だけでなく、異なる行政地区にまたがるアーカイブズ機関が問い合わせしやすいよう相互接続システムを確立し、ユーザーが自宅の快適な空間にしながら利用申請を提出できるようにしている。2022年、中国国家档案局は、全国を網羅するアーカイブズ検索プラットフォームを立ち上げ、モバイルアプリを開発した。その後、このシステムは、2,196機関あるさまざまなレベルの国の档案館を接続している。

近年のモバイルインターネットの発展により、豊かなアーカイブズ資源をベースとした動画製作がより魅力的なものとなり、広く公衆の間に行き渡るようになった。多くのアーカイブズ機関が、テキスト、写真、視聴覚資料のコレクションを合わせて、探索して、その多くが数分程度に編集された、ショート動画を積極的に製作している。これらの動画は、貴重なアーカイブズを紹介し、その背景にあるストーリーを伝え、歴史的記録に対する一般の人々の関心に応えている。これらの動画の多くは、WeChatの公式アカウントのような新しいメディアプラットフォームを通じて広く共有されている。

アーカイブズ機関が運営する WeChat 公式アカウントは、閲覧回数では各機関の公式ウェブサイトを上回ることも多く、公衆とつながる新たな架け橋となっている。これらのアカウントは、テキスト、画像、音声、動画などのさまざまな形式を合わせて情報（国際公文書館会議東アジア地域支部の会議報告など）を発信し、アーカイブズに関する歴史的、文化的知識を普及し、貴重なコレクションの展示、オンラインの講座や研修コースを開催している。さらに、視聴者からのコメント、オンライン相談、予約受付などのインタラクティブ機能を提供し、アーカイブズ機関と公衆の有効なつながりを促進している。

III. 情報構築を推進して科学技術革新を支援する役割を担う

技術革新は社会の進歩を支える原動力である。中国国家档案局は、毎年、「科学技術プロジェクトのトピックに関するガイドライン（Guidelines for Science and Technology Project Topics）」という文書を発行している。これは、アーカイブズマネジメントの最先端の問題を取り上げ、全国のアーカイブズ機関が革新的研究を実施する際の指針を提供するものである。毎年、アーカイブズマネジメントや新技術の応用といった分野を対象として、100件以上の研究プロジェクトに資金が拠出されている。これらのプロジェクトの優れた成果は実用化され、アーカイブズの理解への高度な発展に寄与している。例として、北京オリンピックのアーカイブズ遺産の管理と利用、損傷したフィルムリールの処置と修復、アーカイブズの検索と公開評価（open appraisal）への人工知能（AI）の利用、視聴覚アーカイブの管理などが挙げられる。

視聴覚アーカイブの管理に AI を利用する場合、少なくとも 3 通りの応用シナリオが考えられる。1. 視聴覚アーカイブズ資源のデジタル化：音声に対応するテキストに書き起こすためには、スピーチ認識技術が使われる。一方で動画や写真のアーカイブズの場合は、人物や特定のシーンを抽出して自動タグ付けし、顔やテーマ別シーンをデータベース化して、管理と検索を行いやすくするために、画像認識技術が使用される。2. 視聴覚アーカイブズ資源の自動記述：AI が視聴覚ファイル内のコンテンツを自動識別し、サマリー情報を生成し、主な視覚的要素にタグ付けし、特徴を表すデータを記録し、目録作成プロセスを合理化する。3. 視聴覚アーカイブズ資源の検索：ソフトウェアがテキストや画像を視聴覚コンテンツとマッチングさせ、ユーザーがシステム内のテキストをクリックしたり、顔画像を入力したりすると視聴覚ファイルの関連セクションに直接ジャンプできるようにする。この機能は、テキストから画像を、画像から画像を検索することもサポートする。

中国のアーカイブズ機関は、アーカイブズマネジメントのデジタルトランスフォーメーションを推進するため、新技術、特に情報技術の利用をますます強調するようになっている。2021 年に発表された「全国アーカイブズ事業発展計画 (National Archival Development Plan)」には、政府機関と企業の事業運営システムを電子アーカイブズマネジメントシステムと統合するという目標の概要が示されている。この統合は、電子文書とビジネスデータのオンライン上でのアーカイビングを徐々に実現し、アーカイブズ機関内の電子アーカイブズ資源を統合することを目指すものである。

デジタルアーカイブは、コンピューター技術、ネットワーク技術、マルチメディア技術、その他の情報技術を活用してアーカイブズ資源をデジタルかつオンラインで管理する、ソフトウェアとハードウェアのシステムである。中国国家档案局は、インフラ、システム機能、アーカイブズ資源、サポートシステム、およびサービスパフォーマンスの 5 つの要素を網羅する「デジタルアーカイブズ構築ガイドライン (Guidelines for Digital Archive Construction)」を発表した。本ガイドラインは、アーカイブズ機関がデジタルアーカイブズの構築を進めるための指針として作成されたものである。現在、検証の結果、モデルベンチマークとして 240 の高度なデジタルアーカイブズが確立され、アーカイブズ機関のデジタルトランスフォーメーションの推進に重要な役割を果たしている (国内アーカイブズ機関の従来の媒体のほとんどは 50% 以上デジタル化されており、新規構築されたデジタルアーカイブは電子アーカイブズを受け入れ始めているため、コレクションの媒体が変化している)。

中国のアーカイブズ機関は、アーカイブズマネジメント強化のため、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、AI、ブロックチェーン、5G などの次世代情報技術を応用することを、次第に重視するようになっている。現在進行中のデジタルアーカイブの取組に加え、デ

(国立公文書館による仮訳)

デジタルアーカイブの包括的な改善のための計画が進んでいる。これには、オペレーション業務、アーカイブズ保存、データガバナンス、アーカイブズ利用、意思決定サポートのあらゆる要素において、〔IT 技術を活用する〕スマートマネジメントへと進化することにより、「スマートアーカイブズ」のコンセプトの実現が含まれている。現在、一部のアーカイブズ機関は「スマートアーカイブズ」の予備的調査に着手しており、5G、デジタルツイン、メタバースなどの技術の統合を模索している。

要約すると、アーカイブズ機関は、歴史的記憶の管理者として、アーカイブズの安全な保存、科学的管理、効率的利用の中心的役割を担っている。デジタル時代には、アーカイブズ機関も、時代とともに歩み、自らの変革を遂げ、新技術を活用して、社会により奉仕していくべきである。

私のプレゼンテーションは以上です。ご清聴ありがとうございました。